

キャラクター名 \_\_\_\_\_  
 ページ □ ノート \_\_\_\_\_

プレイヤー名 \_\_\_\_\_

シンドローム	ソラリス ブラム=ストーカー		ワークス	奇術師	カヴァー	放浪者
	オプショナル ノイマン		年齢	22	性別	男
覚醒	命令	衝動	妄想	初期侵食率	47	%
出自	親戚と疎遠	経験	犯罪	邂逅	家族	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1		0			1	行動値	7
感覚	2		0			2	(非装備時)	7
精神	2	1	0			3	戦闘移動	12
社会	3		0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:	2		知識:	2		情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
Dロイス遺産継承者(イフリートの腕)	P	N		
都築京香	P 尽力	N 不信任		
家族	P 庇護	N 侮蔑		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
赤色の従者	1	5	メジャー	至近	自身			全ての能力が3、
効果: 最大HPが[L v × 5 + 10]								
声なき者ども	1	-	常時	至近	自身			
効果: 製作体+L v 浸食値でI v U Pなし 基本浸食値+7								
血の絆	2	3	メジャー	至近	自身			
効果: シーン継続従者作成 I v 回使用可								
赤河の従僕	4	-	常時	至近	-			
効果: 能力値すべて+L v 浸食値でI v U Pなし 基本浸食値+3								
氷壁	1	5	オート	至近	自身	RC		
効果: 「射程: 視界」 判定の達成値を目標値とし攻撃は失敗となる。「タイミング: リアクション」の効果を組み合わせ可 未行動でのみ使用でき、使用後に行動済みとなる。								
トランキリティ	2	3	メジャー/リアクション	-	-			[精神]
効果: 判定のダイスを+[L v + 1]個HPを5点消費								
ファンアウト	1	4	セットアップ	至近	範囲(選択)			
効果: 対象は即座に戦闘移動を行う。1シナリオにL v 回まで								
リフレックス(ソラリス)	2	2	リアクション	至近	自身	シンドローム		
効果: クリティカル値を-L v する(下限値7)								
生き字引	3	1	メジャー	至近	自身	意志		
効果: 情報の代わりに使用してダイス+I v 個								
戦術	2	6	セットアップ	視界	シーン(選択)			
効果: 対象のメジャーアクションのダイスを+I v 個する								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ゼノスのメンバー、常に従者を二人従えている。戦闘能力は皆無。情報収集がメインで従者を含め三人で収集する。戦闘中は従者を使い仲間に指示を飛ばし援護し氷壁を使い仲間を守る。

右腕にイフリートの腕を宿している。普段は隠しているが、戦闘中は出現する。昔家族と何かあったらしい

遺産継承者: 遺産継承者専用アイテムを一つ常備する  
 イフリートの腕: 素手の攻撃力+6サラマンダーのエクソスケルトン1つ1れで習得する。契約者は代償として鈍化悲しみの感情を次第に失っていく。基本浸食値+8

シナリオ上での動き始まりから従者を二人作成個の従者二人は血の絆によりシナリオ終了まで生き残る。  
 情報収集パートでは自キャラを含め三人で生き字引を使い情報を収集する。これによって三回情報収集できる。  
 戦闘パートでは従者二人はセットアップで戦術とファンアウトをそれぞれ使用し仲間を援護、行動値は21だが戦闘能力がないので行動せずに氷壁を使用するために行動を放棄、それしかできない。